

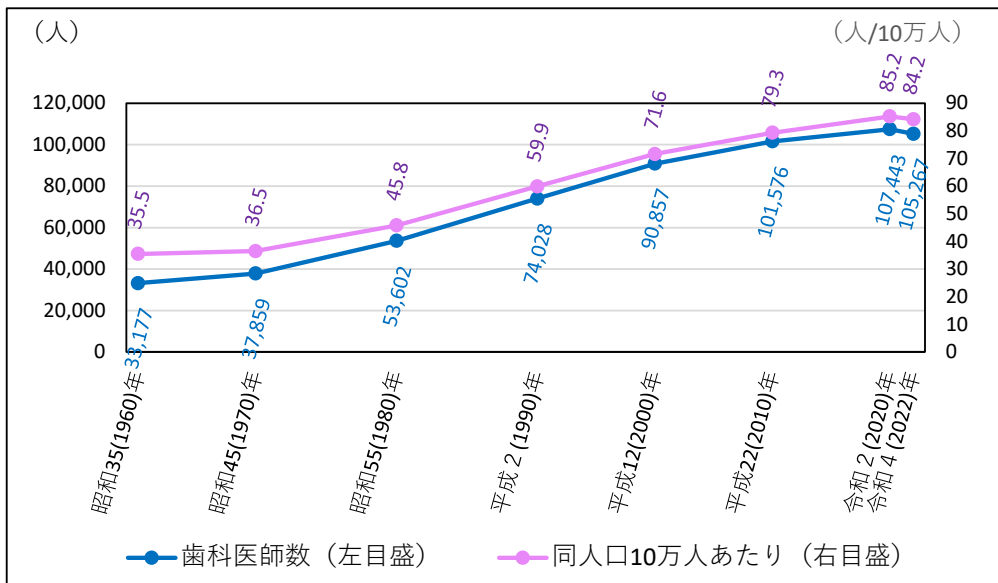
39.【人口あたり歯科医師数】大都市中心部への集積など分布には偏り

No.11 で「人口あたり医師数」をとり上げましたが、同じ「医師・歯科医師・薬剤師統計」（厚生労働省）から、今回は歯科医師数をとり上げます。同じ統計で扱われ、医師も歯科医師も国家資格ですが、全く別の資格であり、歯科医師ができる医療行為は口腔まわりに限定される一方、医師は歯科診療をすることはできません。なお、同統計は隔年調査であり、最新値として令和4年調査のものが公表されているので、それを用います。

全国の歯科医師数は10万人強で、医師数の約1/3です。下図のように、ここ半世紀ほどの間に3倍程度に増加してきたことは医師と共通ですが、令和2年から令和4年にかけて減少に転じたのは、新型コロナウイルス感染症の影響もあるのかもしれませんが、令和4年の人口10万人あたりの歯科医師数は約84人で、これはやはり医師の約1/3の水準です。医師は様々な診療分野があるので数が多いのは当然かもしれませんが、歯科医師がその1/3いるというのはある意味驚きです。

一説に、歯科診療所の数はコンビニより多い（その真偽はまた別の機会に検証したいと思います）とも言われますが、それだけ「歯医者さん」は身近な存在であるということでしょう。

全国の歯科医師数の推移



資料：医師・歯科医師・薬剤師統計

注) ここでの人口10万人あたり歯科医師数は医師・歯科医師・薬剤師統計によるもの

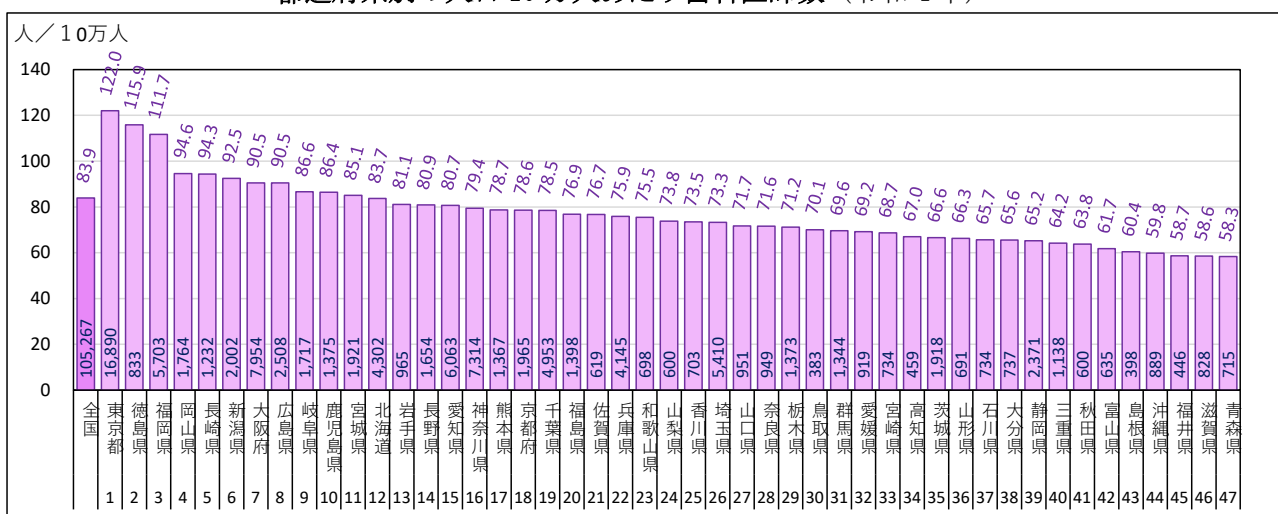
☞大きな歯科医療機関等が集積する東京都が首位

例によって、都道府県別の人口10万人あたり歯科医師数の比較から見ていきましょう。次のグラフはこの値の高い順に都道府県を並べたもので、参考として各都道府県の歯科医師数も表示しています。全国の人口10万人あたり歯科医師数の値が上掲のグラフの値と若干異なりますが、これは分母の人口の扱いによると思われます。ここでは、歯科医師数が令和4年12月31日現在なので、分母の人口は「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」による令和5年1月1日現在の住民基本台帳人口を用いています（No.11の人口あたり医師数では、医師数が令和2年だったため分母には令和2年国勢調査人口を用いていました）。

人口 10 万人あたり歯科医師数の首位は東京都で、全国平均の 1.5 倍近い水準です。同様に徳島県と福岡県も人口 10 万人あたり 100 人以上という高水準であり、他の道府県との差が顕著です。全国平均以上なのは、この 3 都県のほか、岡山県、長崎県、新潟県、大阪府、広島県、岐阜県、鹿児島県、宮城県、北海道を合わせた 12 都道府県のみで、43 位以下の島根県、沖縄県、福井県、滋賀県、青森県は首位東京都の半分以下の水準です。

歯科医師の分布はこのようにながりの偏りが見られるわけですが、特に首都東京には規模の大きい歯科大病院等も集積していることのほか、分母の人口が少ないところでは値が大きくなるのはNo.11 見た人口あたり医師数と同様と言えるでしょう。なお、医師と同様に歯科医師も複数の勤務地を持つ場合がありますが、ここは「主たる従業地」による集計です。

都道府県別の人口 10 万人あたり歯科医師数（令和 4 年）

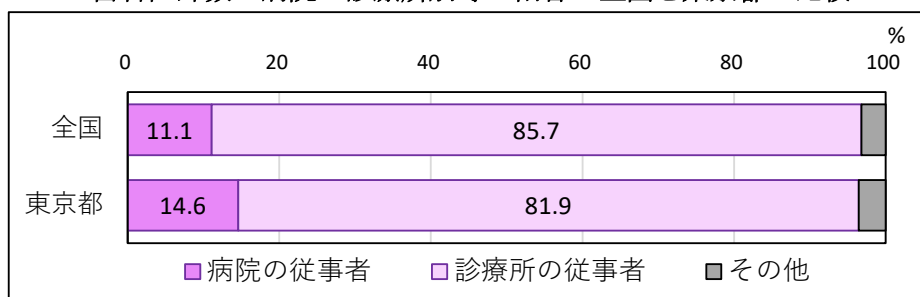


グラフ内の下の数字は各都道府県の歯科医師数（人）

資料：医師・歯科医師・薬剤師統計（人口は令和 5 年住民基本台帳人口）

統計では、歯科医師の「主たる業務の種別」の数も示されており、そこでは大きく病院、診療所、その他での従事者に分けられます。病院には、病院、医育機関附属の病院（いわゆる大学病院など）の勤務者がありますが、病院と診療所の勤務者の割合を全国と東京都で比べると、下の図のように、東京都は病院の勤務者割合が比較的高いことがわかります。上で述べた、東京には規模の大きい医療機関等が集積している、ということも裏付けています。

歯科医師数の病院・診療所別等の割合の全国と東京都の比較



(令和 4 年)

資料：医師・歯科医師・薬剤師統計

なお、上図で「その他」とは、介護老人保健施設の従事者や介護医療院の従事者、またそれ以外で行政機関・保健衛生業務の従事者なども含まれます。また、病院勤務者にも開設者又は法人の代表者と勤務者、医育機関附属の病院の勤務者にも臨床系の教官又は教員やその他、診療所従事者にも開設者又は法人の代表者、勤務者等の分類がありますが、ここでは省略します。

☞全国平均の倍以上の水準の市区町村が 40 近くも

次に、市区町村別の人口 10 万人あたり歯科医師数の比較を試みます。算出方法は上記の都道府県別と同じです。

医師・歯科医師・薬剤師統計が政令指定都市も行政区別となっており、市区町村数は 1,896 となりますが、東日本大震災による原子力発電所事故の影響が残る福島県双葉郡 8 町村と飯館村は対象外とし、1,887 市区町村での比較とします。

次ページに、人口 10 万人あたり歯科医師数の上位 100 を、その値及び参考として歯科医師数とともに示します。全国平均が人口 10 万人あたり 84 人程度だったことを念頭にみると、その倍以上の水準の市区町村が 40 近くもあることがわかります。

中でも 1 位で 2,493 人/十万人と突出しているのが東京都千代田区で、ここには日本歯科大学、東京歯科大学という大きな歯科大学病院があるほか、区内で働く膨大な昼間人口を市場とした歯科診療所等も多数集積立地しており、これを少ない夜間人口あたりで見ているのでこのような突出値となるわけです。

このほか、上位陣では、東京都の区部をはじめ、名古屋市、大阪市、福岡市、札幌市等の中心やそれに近い区の名が多く見られ、やや非日常的なサービス業ともいえる歯科医が、大都市中心部等に集積する傾向が読みとれます。

また、歯科医師数は 1 桁など少ないながら上位に登場している地方の町村もありますが、これらは分母の人口が少ないため、歯科医師一人の比重が大きくなる結果といえます。

なお、対象市区町村のうち歯科医師数が 0 というところが下表のように 76 町村あり、これらは中山間地域や離島が多いのですが、前述のようにこの統計が「主たる従業地」によるものであり、地方では歯科医のいない町村へ巡回診療のような形でサービス提供がなされる例もあるでしょう。No.11 の医師数で述べたように、ここでも広域的な視点で論ずる必要があるとも言えます。

歯科医師数 0 の町村（令和 4 年）

(県)	市区町村	(県)	市区町村	(県)	市区町村	(県)	市区町村	(県)	市区町村
北海道	赤井川村	山形	戸沢村	新潟	粟島浦村	京都	伊根町	福岡	上毛町
北海道	浦臼町	山形	飯豊町	山梨	早川町	奈良	三宅町	熊本	産山村
北海道	下川町	福島	檜枝岐村	山梨	小菅村	奈良	黒滝村	熊本	相良村
北海道	音威子府村	福島	北塩原村	長野	南牧村	奈良	野迫川村	熊本	五木村
北海道	中頓別町	福島	磐梯町	長野	南相木村	奈良	下北山村	熊本	山江村
北海道	陸別町	福島	湯川村	長野	北相木村	奈良	上北山村	熊本	球磨村
青森	蓬田村	福島	三島町	長野	阿智村	奈良	川上村	鹿児島	三島村
青森	西目屋村	群馬	上野村	長野	平谷村	奈良	東吉野村	鹿児島	十島村
青森	田舎館村	群馬	南牧村	長野	根羽村	和歌山	九度山町	鹿児島	大和村
青森	東通村	埼玉	東秩父村	長野	大鹿村	和歌山	北山村	沖縄	伊江村
青森	風間浦村	千葉	睦沢町	長野	王滝村	徳島	上勝町	沖縄	座間味村
青森	新郷村	東京	利島村	長野	麻績村	徳島	佐那河内村	沖縄	粟国村
岩手	九戸村	東京	新島村	長野	筑北村	高知	北川村	沖縄	多良間村
宮城	七ヶ宿町	東京	御蔵島村	岐阜	東白川村	高知	馬路村		
秋田	藤里町	東京	青ヶ島村	岐阜	白川村	高知	大川村		
		神奈川	清川村	愛知	豊根村	高知	三原村		

資料：医師・歯科医師・薬剤師統計

人口 10 万人あたり歯科医師数の上位市区町村のうち、1 位から 50 位の市区町村の位置を次々ページのマップに示します。

歯科医は「やや非日常的なサービス業」と上で書きましたが、急な発症や複数回の通院の必要性などの需要特性もあり、これら上位の市区町村は身近に歯科医がいるという部分で、やはり便利と言えます。

市区町村別の人口10万人あたり歯科医師数〔上位100位まで〕（令和4年）

順位	(県)	市区町村名	人口10万人あたり 歯科医師数 (人/10万人)	【参考】 歯科 医師数 (人)
1	東京	千代田区	2493.0	1,693
2	北海道	当別町	717.6	110
3	大阪	大阪市中央区	544.5	612
4	岐阜	瑞穂市	426.9	239
5	東京	文京区	404.1	928
6	福岡	赤村	372.5	11
7	新潟	新潟市中央区	371.9	644
8	埼玉	坂戸市	348.8	348
9	長野	塩尻市	343.3	227
10	東京	中央区	329.7	574
11	島根	知夫村	325.2	2
12	沖縄	渡名喜村	315.5	1
13	東京	港区	303.9	795
14	愛知	名古屋市千種区	299.6	478
15	福岡	北九州市小倉北	269.5	483
16	愛知	名古屋市中区	266.0	247
17	東京	渋谷区	241.1	553
18	宮城	仙台市青葉区	234.4	692
19	広島	広島市南区	229.5	324
20	兵庫	神戸市中央区	212.6	296
21	東京	新宿区	211.4	732
22	岡山	岡山市北区	211.3	624
23	北海道	札幌市北区	208.3	595
24	福岡	福岡市中央区	205.5	406
25	福岡	福岡市早良区	205.3	455
26	長野	売木村	202.0	1
27	大阪	大阪市北区	197.6	270
28	島根	川本町	194.9	6
29	広島	広島市中区	193.5	264
30	山梨	丹波山村	186.9	1
31	大阪	吹田市	185.7	708
32	沖縄	北大東村	184.5	1
33	岩手	矢巾町	184.4	49
34	北海道	札幌市中央区	177.0	432
35	徳島	徳島市	176.7	440
36	福岡	福岡市東区	172.7	556
37	熊本	熊本市中央区	172.0	303
38	神奈川	横浜市鶴見区	169.0	496
39	京都	京都市中京区	165.7	174
40	愛知	名古屋市中村区	165.2	223
41	東京	豊島区	159.0	459
42	大阪	大阪市天王寺区	158.1	129
43	東京	武蔵野市	157.5	233
44	京都	京都市上京区	157.4	119
45	岩手	盛岡市	157.3	445
46	東京	台東区	156.6	325
47	埼玉	毛呂山町	156.4	51
48	神奈川	横浜市西区	155.2	162
49	東京	小笠原村	155.0	4
50	愛知	名古屋市昭和区	153.8	163

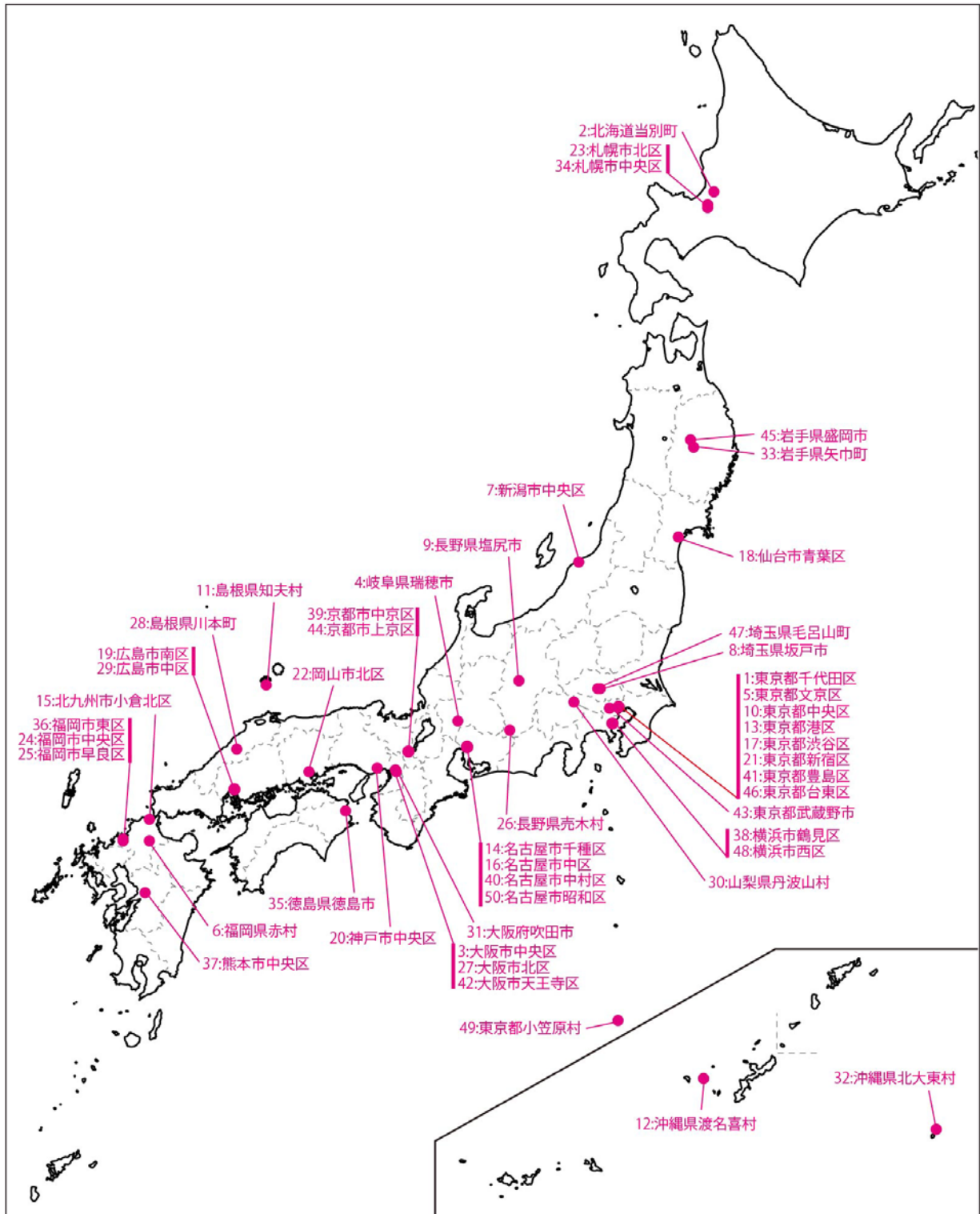
順位	(県)	市区町村名	人口10万人あたり 歯科医師数 (人/10万人)	【参考】 歯科 医師数 (人)
51	千葉	千葉市美浜区	153.2	234
52	京都	京都市下京区	150.3	115
53	広島	海田町	150.1	46
54	長崎	長崎市	148.3	595
55	神奈川	横浜市中区	145.1	222
56	沖縄	渡嘉敷村	143.9	1
57	北海道	占冠村	143.5	2
58	東京	大田区	142.2	1,036
59	東京	目黒区	139.3	388
60	神奈川	横須賀市	139.1	540
61	福岡	北九州市戸畑区	137.9	77
62	千葉	鴨川市	137.5	43
63	福島	郡山市	136.7	434
64	徳島	牟岐町	135.4	5
65	栃木	壬生町	132.1	51
66	東京	品川区	132.1	534
67	福岡	福岡市博多区	131.9	315
68	千葉	松戸市	131.4	653
69	大阪	大阪狭山市	130.4	76
70	千葉	芝山町	130.3	9
71	青森	今別町	129.8	3
72	熊本	嘉島町	129.1	13
73	鹿児島	鹿児島市	129.0	771
74	埼玉	さいたま市浦和区	128.8	217
75	奈良	吉野町	128.0	8
76	北海道	神恵内村	127.9	1
77	北海道	仁木町	127.9	4
78	大阪	大阪市福島区	127.5	101
79	千葉	千葉市中央区	126.9	269
80	福岡	小竹町	126.4	9
81	和歌山	新宮市	126.3	34
82	東京	国立市	124.7	95
83	東京	立川市	121.8	226
84	愛知	名古屋市瑞穂区	119.1	128
85	岡山	新庄村	118.1	1
86	愛媛	東温市	117.3	39
87	福井	永平寺町	116.4	21
88	神奈川	横浜市神奈川区	115.3	280
89	大阪	大阪市西区	115.2	122
90	福岡	直方市	115.0	64
91	岐阜	岐阜市	114.3	460
92	佐賀	大町町	114.1	7
93	福岡	田川市	113.8	52
94	和歌山	御坊市	113.4	25
95	大阪	大阪市阿倍野区	113.0	126
96	愛知	名古屋市東区	112.6	93
97	埼玉	さいたま市大宮区	112.1	139
98	神奈川	逗子市	111.9	66
99	福岡	北九州市若松区	111.7	90
100	北海道	妹背牛町	111.5	3

「主たる従業地」による

資料：医師・歯科医師・薬剤師統計（人口は令和5年住民基本台帳人口）

「人口 10 万人あたり歯科医師数」 上位の市区町村マップ（令和 4 年）

※ 1～50 位を表示



「主たる従業地」による

資料：医師・歯科医師・薬剤師統計（人口は令和 5 年住民基本台帳人口）